

「わたしの音楽 みんなで音楽」

～音楽を形づくっている要素を感受し 自ら広げる音楽の世界～

主題設定の理由

新学習指導要領では、一人ひとりの児童生徒がより主体的に音楽を学ぶことを目指している。子どもたちがその音楽のよさを感じ取り、思考、判断して自分達のイメージにあった表現を導き出そうとするなど、音楽の授業が「思考・判断・表現」する場となることが、いっそう求められている。そして「私が感じた音楽」「私が工夫した音楽」「私が表現した音楽」「私がつくった音楽」など、音楽を通した自己実現として表れたり、「私がいいなど思う音楽」「私が好きな音楽」など、自分の価値観を持って音楽を愛好し、自分の言葉で音楽のよさを説明したりすることが、音楽の学力として求められている。このように子どもたちが音楽を価値あるものとして受け入れたり、目の前の音楽を形づくっている要素について、感じ取ったイメージから工夫を考えたり、お互いのイメージを共有しながら、みんなで音楽を試行錯誤したりする活動は、とても重要である。このような活動を通して、子どもたち一人ひとりに音楽を通して自己表現が高まることを願い、研究を深めてきた。

I 研究の内容

1 研究の具体的内容

(1) 教材研究

- ・音楽科としておさえるべき基礎・基本の分析
- ・教材選択の視点の明確化
- ・講習会（音楽づくりの指導と実践）

(2) 授業研究

- ・子どもたちがそれぞれの思いを実現し、音楽的満足感を味わえる授業の工夫
- ・音楽を形づくっている諸要素をどのように知覚・感受させ、よりよい表現につなげていくか
- ・子どもたち一人ひとりの思いや意図を伝え合う活動の充実を図る
- ・小中学校の発達段階に合わせた系統性のある指導について

(3) 明日の授業づくりと教師の技能向上のために

- ・平成28年度東山梨小中学校音楽発表会での合唱実践
- ・教職員音楽発表会出演（合唱「プレゼント」「ぜんぶ」）
- ・授業に生かせる講習会・学習会 3回実施
- ・毎回の実践研修（合唱）
- ・音楽の実践発表（音楽授業の実践・音楽集会など全員が発表）

2 研究の方法

(1) 教協研究日 (10回のうち統一授業研究日 2回)

- ・加納岩小学校 小宮山 万里先生 (9月)
- ・笛川中学校 萩原 久子先生 (2月)

(2) 講習会・学習会

- ・講師：塩山中学校 水上 陽介先生・竹川 美和先生
「打楽器指導法講習会」(6月)
- ・講師：常永小学校 雨宮 宏幸先生
「Power Pointを使用した音楽鑑賞教材づくり」(8月)
- ・講師：音楽家 高島 千香先生
「音楽づくり・授業で使える実践」(9月)

II 成果と課題

今年度は、「音楽づくりの指導と実践」をテーマとした講習会・実践報告、通年の合唱曲を決め合唱を行った。

3回の講習会では、「打楽器指導法講習会」「ICTを活用した授業づくり」「音楽づくり・歌唱領域」といった内容を学び、教師の指導力向上を図ることができた。

実践報告では、音楽集会や普段行われている授業について、さらに、昨年からの継続として創作領域に関する報告がされた。この交流により、自分自身の実践に生かされた。

研究授業では、事前に全員で検討を行い、授業の流れや内容を共通理解した上で臨むことができた。授業の中で子どもたちは、「わたしの音楽」を組み立てた後、身体表現や言葉や音・音楽の要素などを交えたやりとりをし、さらに練り上げた「みんなの音楽」へと高めていく姿がみられた。研究討議の中で、実態に即した教材選択の在り方や小中連携を意識した指導について討議が深まり、大変有意義であった。また、日本音楽(民謡)が題材として取りあげられ、授業の進め方や評価についても研究するよい機会になった。

来年度は、「打楽器実践法講習会」や「ICTを活用した授業実践」、さらに「創作領域」について研究を深めていきたい。また、小中学校の発達段階に合わせた系統性のある指導法について、部員同士がお互いに学習できるような研究会にしたい。

III 成果物

- 小学校 第1学年 「声部の役割を生かして、表現を工夫しよう」
加納岩小学校 小宮山 万里先生
- 中学校 第1学年 「日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう」
笛川中学校 萩原 久子先生

(部長 平山 昌実)